

京子のつぶやき
幸せは自分で感じるのですね

ヒフミヨイ/マワリテメクル/ ムナヤコト/アウノスヘシレ/カタチサキ /
ソラニモロケセ/~と唱えると心が無になり幸せな気分になるのです。なんかおかしいですよ。でも前回の講演会に参加した人は納得ですか。

陶板浴内では年2回の講演会をしています。それは「病気になる前から知識を得ることで大病をしないで済むこともあるのではないか」「健康について知り得た最新の情報は伝えていこう」と、これは健康を願う沢山のお客様と接して、陶板浴の役割でもあるとの思いから、10年近く前から年2回開いてきました。共通していることは、具合が悪くなったらすぐ薬や医師に頼るのではなく、なぜ身体にそのようなことが起きてくるのか、自分の身体を知り免疫力を整え、その力で健康に生きていける生活ができるようにとの内容です。それが今の医療界を変えることにもなれるとの思いです。講演会は毎回キャンセル待ちが出るなど好評を頂いていますが、今は年2回では収まらず、日程調節を悩むくらいです。お客様から「良く竹屋さんはいろんな人を知っていますね」と言われたりしますが、それが不思議な現象なのです。スタッフ会議で「次回の講演会はどんな内容にする」と話をすると「いなければ社長が」と言われたりしますが、不思議なことに講演者が現れるのです。お客様からの紹介や今までのつながりの中から医師や様々な専門家の方々と知り合うことができるのです。本当に不思議で幸せなことなのです。今後も豪華な顔ぶれが揃っています。ファスティングマイスター学院の中武学長・夏祭りでは竹内れいこさん率いる3人の方々・氣の瀧上先生の第2弾講座などなど、どれも楽しみです。13周年に向けてはまだ決まっていません。どなたかお知り合いの方がおりましたら教えて下さい。

陶板浴敷地内の植物もそれなりに定位置が決まり落ち着いているのですが、レモンの木が10年過ぎても実が上手になりません。太陽が当たるところへ移動してくれたのですが一年後みるみる元気がなくなりもうだめかと諦め、根を抜こうと思っていたところ、今年なんと根の近くの枝から新芽が出てきたのです。それが凄くすごく嬉しくって、「見てみて芽が出てきたの」って、叫びたいくらい。こんなに嬉しい幸せな気分になるなど自分でも不思議なくらいです。これが隣のレモンの木だったら「あら良かったですね」くらいの言葉で済ましていたかもしれません。同じ物でも手をかけ心配することで情が湧いてなんでも愛おしくなるのですね。